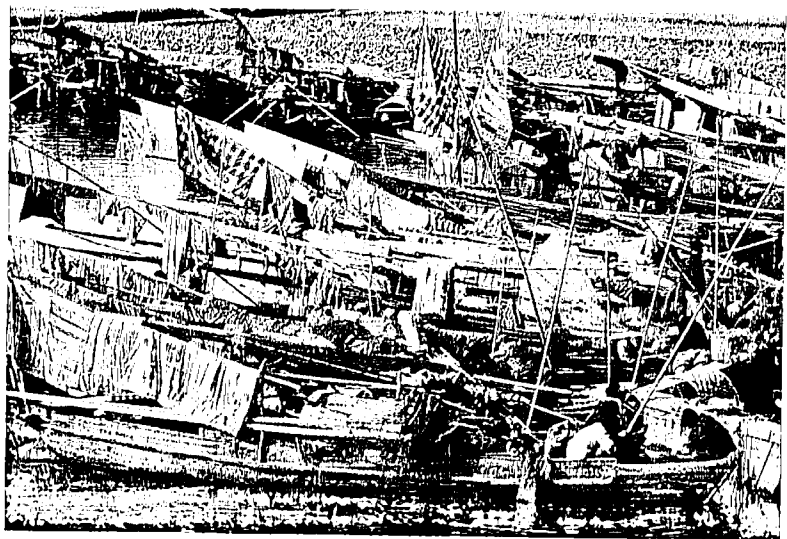


Natana Kairali.

Venugopalan, P. 2007. *Kutiyattam Register*. Margi. Thiruvannathapuram.

資料

*The Heritage: Preserving the Age Old Sanskrit Theatre*  
2005, Lumiere Printing Works, Trissur.



## 随筆

# カリスマからスピリチュアリティへ

広島大学環境平和学プロジェクト研究センター所長

町田宗鳳

またた そうほう

### 希薄化するカリスマ性

今は世界的に、いずれの分野においてもカリスマ枯渇の時代である。カリスマ (Charisma) という言葉は、早くも新約聖書の「パウロ書簡」に登場し、神からの贈り物としての超能力を意味した。いつの時代にも、預言や異言を口にする不思議な人物がいたらしく、一九世紀になってマックス・ヴェーバーも、それをひとつの社会学的概念として受け止め、非日常的で超自然的な資質、あるいはそのような資質を有する者をカリスマと呼んだ。ここでは、かりそめにカリスマを、合理性を超えた全人格的存在感と理解しておこう。

広く世界を見渡してみても、カリスマ性のある政治的指導者が少なくなった。われわれの記憶にある一昔前の政治的指導者としては、レーニン、チャーチル、ルーズベルト、ガンジー、ホー・チ・ミン、毛沢東などがいるが、倫理的な資質を問わなければ、いずれもカリスマ性を豊かにもつ人物である。彼らの強い個性は、それぞれの政治的手法に直接反映され、

彼らが率いた国家の個性ともなっていた。

ところが、今や濃厚なカリスマのペールに包まれた政治的指導者というのは、あまり見当たらない。そのぶん、強権的な政治的指導者が減り、政治家と一般市民の距離が狭まったとも言えるが、その一方で社会の混迷を打開するだけの能力を持ち合わせる政治家が少なくなった。そのことは、派手な演出がされる割には、存在感が希薄になる一方のG8サミットにも象徴されている。

そういう政治的倦怠感の中で選ばれたのが、アメリカのバラク・オバマ新大統領である。今にして思えば、あのような良識ある人物が大統領の座を勝ち取るためには、カリスマが極めて薄弱であったジョージ・ブッシュ前大統領の存在も天の配剤であったと言わざるを得ない。アメリカ国民の期待を一身に担って登場してきた彼も、やがてカリスマ的存在になるのかもしれないが、任期中、不穏な勢力の凶弾の餌食にならないことだけは祈りたい。

わが国でも、個性の強さにおいて吉田茂と肩を並べて遜色のない首相というのは、久しく出ていない。政権を途中で投げ出す総理大臣が続出するという事実は、まぎれもなく日本の政党政治そのものの軽さを示していると言える。だからといって、騒乱の一つも起きないところに、日本国民の民度の高さと共に、この国にはびこる政治的アパシーが見てとれる。

同じことが経済界についても言える。戦後日本経済の牽引力となったのは、学歴などに依存することのないカリスマ的起業家である。松下幸之助を筆頭として、本田宗一郎、井深大などが挙げられる。

彼らは、経営学のマニュアル化された知識などはまったく無縁なところで、みずからの本能的な嗅覚と直観力を頼りに、独自の製品を開発し、それを武器に未開の市場を大胆に切り開いていった。彼らの家内工業的な経営が世界的大企業へと発展していったプロセスは、一種の宗教的神秘性さえ感じさせる。

それとは対照的に、現在の大手企業のトップは、ほとんど例外なく高学歴をもち、豊富な海外駐在体験などを経て、かつての日本人にはなかった国際感覚に富んでいる。どこか土臭さを漂わせていた創業者と比べて、いかにも垢ぬけた経営者という風情であるが、所詮はサラリーマン社長であり、長期にわたって一企業の顔となることは稀である。

小回りの利かない大型船舶のように、多国籍企業化した大規模な組織のかじ取りは難しく、企業経営に閉塞感が出始めると、日本人トップが喪失してしまったカリスマ性を探し求めて、日産のカルロス・ゴーン氏のような人物を海外から招へいせざるを得なくなってくる。

政財界で起きていることは、アカデミズムの世界でも起きている。科学的実証性を追求するうちに、直観力や想像力といった曖昧な要素がマージナルな世界に押しやられ、カリスマ的な研究者が活躍できる空間は、ほとんどなくなっている。おかげでアインシュタインのように、若き日の劣等生が、じつくりと芽を出し、既存の学説を見事に転覆させるようなドラマは、あまり期待できなくなった。幼いときから名門と呼ばれる学校に通い、高度な知識を吸収し、合理的な思考力や卓越した語学力を身につけた者が、象牙の塔で幅を利かせるようになってしまった。